

平成30年度第2回 名古屋市交通事業経営有識者懇談会

名古屋市営交通事業経営計画 (2015-2018) の進行管理について

平成30年8月21日

名古屋市交通局

名古屋市営交通事業経営計画（2015-2018）の概要

（1）計画期間

平成27(2015)年度から平成30(2018)年度までの4年間

（2）計画掲載事業

113事業(複数の施策にまたがる13事業は、重複して計上)

（3）計画目標

○市バス事業

- ・平成30年度に1日あたり34万人の乗車人員をめざします。
- ・経常収支の黒字を確保します。
- ・資金不足を解消します。
- ・計画期間中に50億円投資します。

○地下鉄事業

- ・平成30年度に1日あたり127万人の乗車人員をめざします。
- ・実質経常収支の黒字を確保します。
- ・実質資金不足額を平成26年度比で約10%(263億円)削減します。
- ・計画期間中に542億円投資します。

平成29年度の実施状況

計画に掲げる113事業のうち98%にあたる111事業は、概ね8割以上の進捗で順調に進んでいる。一方、「やや遅れ」の事業も2事業あった。

			☆☆☆ 順調 (概ね8割以上の進捗)	☆☆ やや遅れ (概ね5割以上8割未満の進捗)	☆ 遅れ (概ね5割未満の進捗)
平成29年度計			111	2	0
施策	SAFETY ①	安全運行を確保することにより、お客さまの安全・安心を守ります。	17	0	0
	SAFETY ②	南海トラフ巨大地震をはじめとする災害に備え、お客さまの安全・安心を守ります。	7	1	0
	SAFETY ③	施設等の老朽化対策により、お客さまの安全・安心を守ります。	8	0	0
	CHALLENGE ①	誰もが利用しやすい快適な市バス・地下鉄の環境づくりに挑戦します。	38	0	0
	CHALLENGE ②	職員力を高め、お客さまへのより質の高いサービスの提供に挑戦します。	9	0	0
	CHALLENGE ③	名古屋のまちづくりに貢献するため、市バス・地下鉄の魅力向上に挑戦します。	14	0	0
	CHALLENGE ④	さらなる経営基盤の強化に挑戦します。	18	1	0

(注)複数の施策にまたがる13事業は、重複して計上している

「やや遅れ」となった事業

事業	状況
地下鉄構造物の耐震補強	耐震補強工事箇所の支障物移設や補強内容の精査等に時間を要したものの
市バスの民間への管理委託の拡大	28年度に、30年度開始の条件で再募集し、29年度は、施設整備の契約を締結し、工事着手したもの

計画目標と決算(見込)の比較

○市バス事業

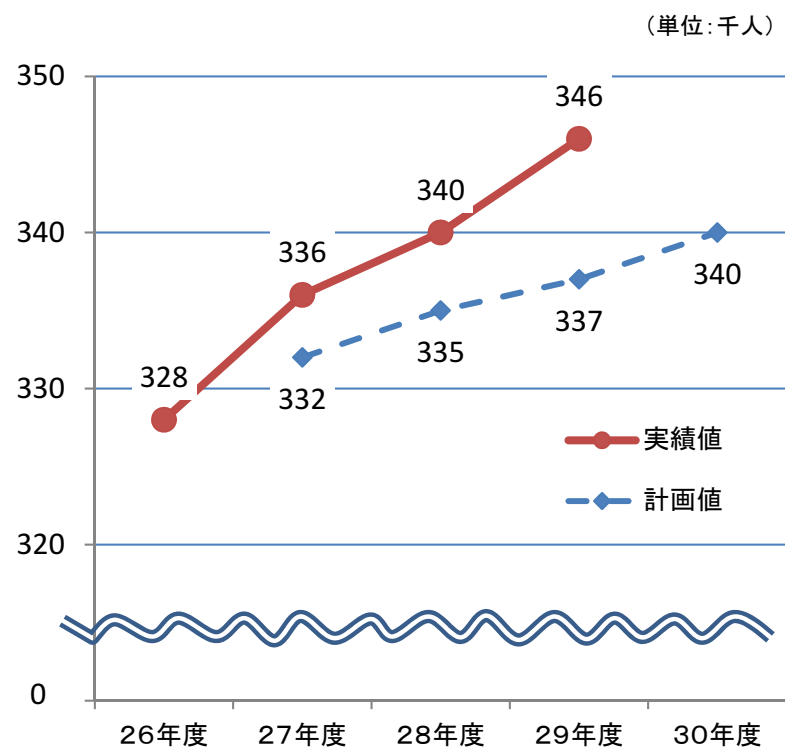
区分	平成29年度 計画(A)	平成29年度 決算(見込)(B)	差引 (B－A)
1日当たり乗車人員	337 千人	346 千人	9 千人
経常収支	10 億円	17 億円	7 億円
資金不足額	△6 億円	－ 億円	－
(資金不足比率)	(3.1%)	〔 28年度で 資金不足を解消 〕	－
投資額(建設改良費)	11 億円	15 億円	4 億円

○地下鉄事業

区分	平成29年度 計画(A)	平成29年度 決算(見込)(B)	差引 (B－A)
1日当たり乗車人員	1,262 千人	1,313 千人	51 千人
実質経常収支	45 億円	100 億円	55 億円
実質資金不足額	△2,318 億円	△2,187 億円	131 億円
投資額(建設改良費)	130 億円	109 億円	△21 億円

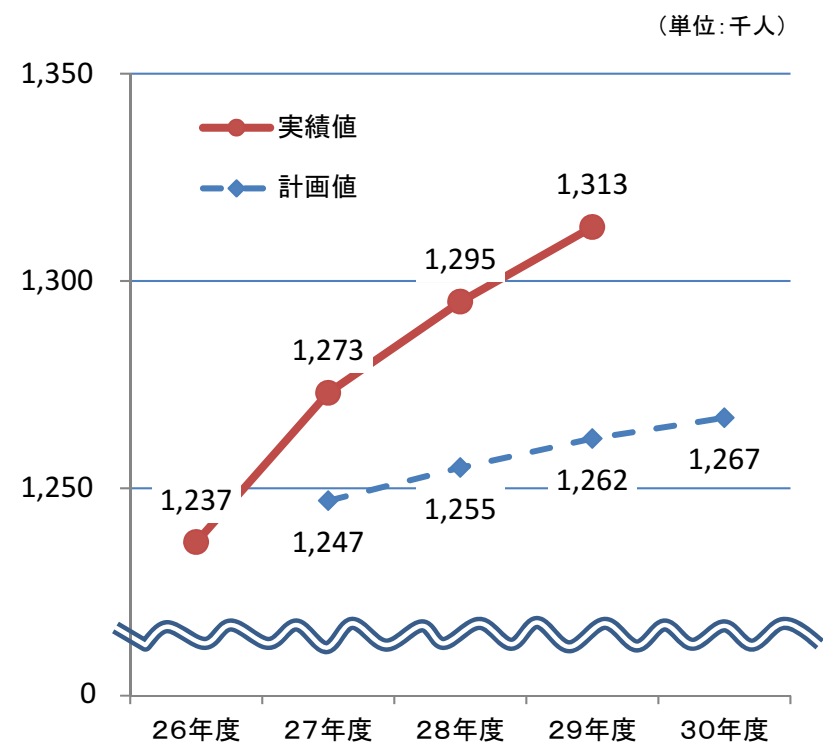
1日当たり乗車人員の推移

○市バス事業



(※実績値の29年度は決算見込値)

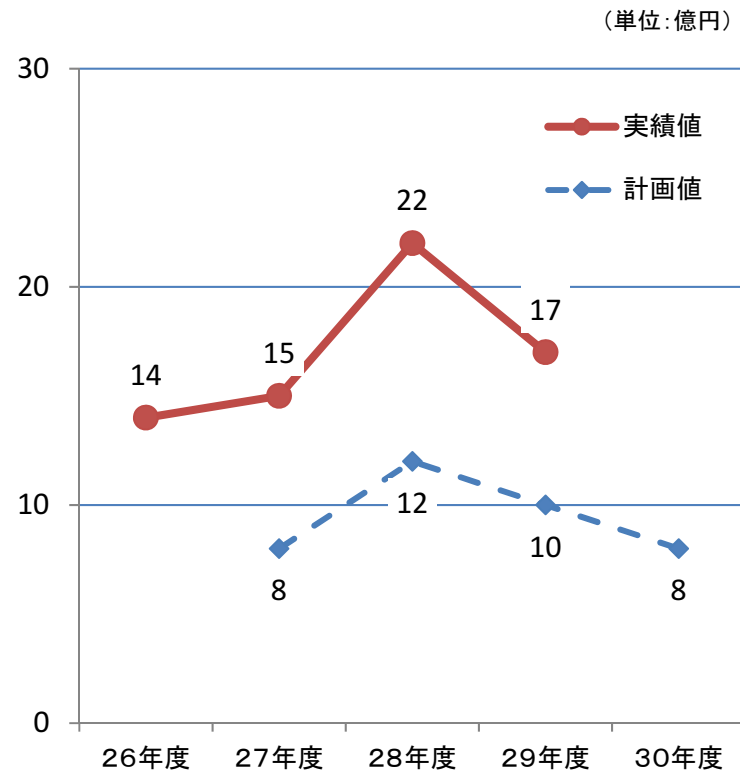
○地下鉄事業



(※実績値の29年度は決算見込値)

経常収支の推移

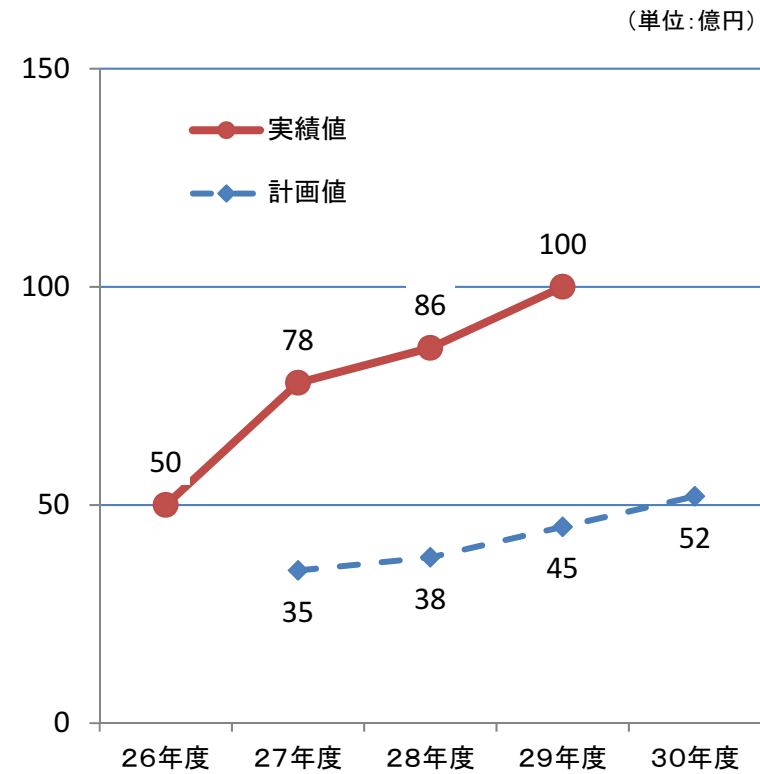
○市バス事業



(※実績値の29年度は決算見込値)

実質経常収支の推移

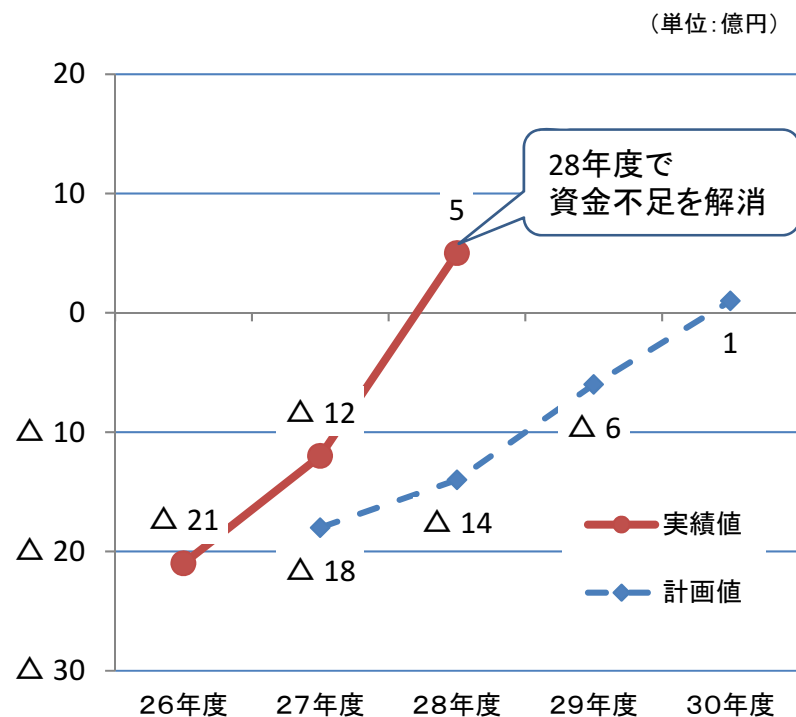
○地下鉄事業



(※実績値の29年度は決算見込値)

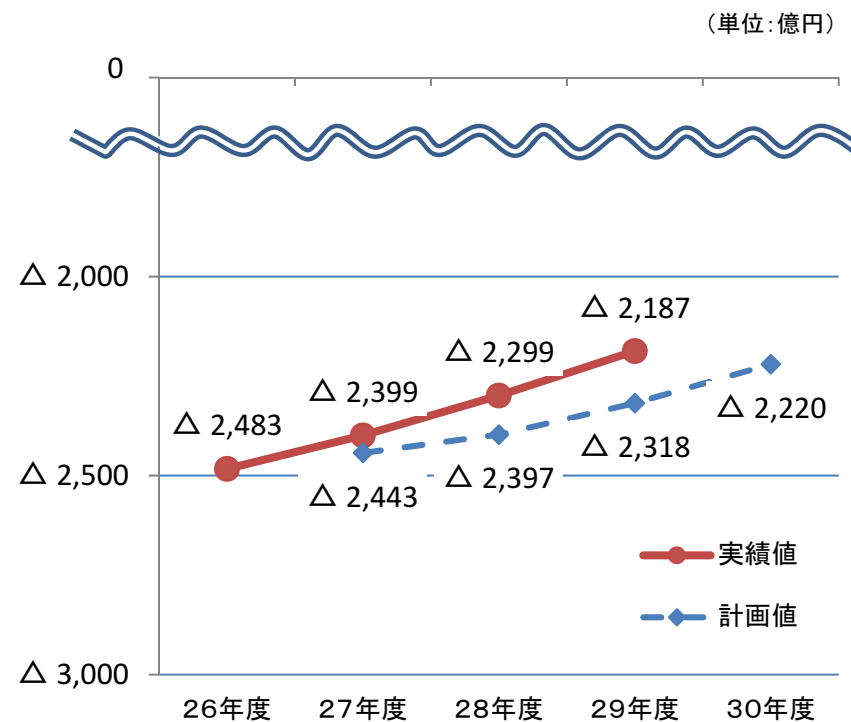
資金不足額の推移

○市バス事業



実質資金不足額の推移

○地下鉄事業



(※実績値の29年度は決算見込値)